

事業群評価調書(平成30年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	土木部 道路維持課
施策名	(3) インフラの長寿命化の推進	課(室)長名	馬場 一孝
事業群名	① インフラの戦略的な維持管理、更新の推進	事業群関係課(室)	港湾課、住宅課、河川課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)				
国のインフラ長寿命化計画や長崎県公共施設等総合管理基本方針に基づき、計画的で適切な維持管理や更新によって、トータルコストの縮減・平準化を図り、インフラを安全に、より長く利用できるように取り組めます。						i) 橋梁、トンネルの維持管理更新 ii) 港湾施設及び県管理空港施設の維持管理更新 iii) 県営住宅の維持管理更新 iv) ダム、水門、樋門の維持管理更新 v) 道守制度の活用				
事業群	指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	橋梁の補修実績数	目標値①		170橋	174橋	188橋	208橋	221橋	221橋 (H32)	
		実績値②	153橋 (H26)	170橋	174橋				進捗状況	
		②/①		100%	100%				順調	
橋梁長寿命化修繕計画(第二期:H27～H36)では、今後10年間は橋の事後保全的な修繕を集中的に実施し、予防保全的な修繕への転換を図ることとしている。 平成29年度は4橋の補修が完了し、累計174橋と目標を達成出来た。										

2. 29年度取組実績(H30新規・補正は参考記載)

事業 番号	取組 項目	事務事業名	事業 期間	事業費（単位:千円）			事 業 概 要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					29年度事業の成果等	中核 事業
				H28実績	うち 一般財源	人件費 (参考)	事業対象	29年度事業の実施状況 (30年度新規・補正事業は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
				H29実績							H29目標	H29実績			
				H30計画							H30目標				
1	取組 項目 i	橋梁の維持管理更新 (橋梁補修費)（公共）	-	2,329,892	63,372	—	県管理道 路 利用 者	平成26年度に改訂した長崎県橋梁長寿命化修繕 計画に基づき、補修が必要な8橋に対して対策を 実施した。	活動 指標	橋梁の補修実績数 (累計)（橋）	170	170	100%	計画に基づいた予防的保全による補修 を実施しており、活動指標については目 標を達成できた。成果指標については、 早期に修繕が必要な204橋のうち、H29 までに201橋が完了し、達成率は98%で あった。残り3橋については、現在、他 事業による架替等を検討しており、平成 32年度以降に対策実施予定となる。	○
				1,563,093	58,262	—					174	174	100%		
				2,396,690	64,106	—					177				
		道路維持課							成果 指標	予 防 的 な 補 修 に よ り 安全性が保たれた橋 梁の割合（％）	97	97	100%		
					100	98	98%								
					100										
2	取組 項目 i	舗装の維持管理更新 (舗装補修費)（公共）	-	1,516,419	14,275	—	県管理道 路 利用 者	平成26年度に改訂した長崎県舗装維持管理計画 に基づき、補修が必要な箇所に対して対策を実施 した。	活動 指標	舗装の補修箇所数	30	88	293%	H29年度から舗装表層の補修が交付金 対象外となったことにより、H29の実績 は目標値より大きく低くなっている。 また、舗装版の劣化が想定より進行し ていたため、延長当たりの補修コストが 増となり、成果目標を達成することがで きなかった。	○
				306,409	8	—					49	43	87%		
				246,977	41	—					28				
		道路維持課							成果 指標	舗装の補修延長 (km)	38	32	84%		
						20	11.4	57%							
						10									

3	取組項目1	橋梁補修事業	-	93,127	27	3,217	県管理道路利用者	小規模補修が必要な橋梁に対して対策を実施した。	活動指標	橋梁の補修実績数(橋)	3	3	100%	橋梁補修をすることで安全で快適な交通の確保を図ることができた。							
				99,684	84	4,023					1	4	400%								
				96,700	0	3,198					4										
		道路維持課							3	3	100%	1	4			400%	4				
4		舗装補修事業	-	1,063,317	217	32,972	県管理道路利用者	平成26年度に改訂した長崎県舗装維持管理計画に基づき、補修が必要な箇所に対して対策を実施した。	活動指標	舗装の補修箇所数	84	89	105%	舗装版の劣化が想定より進行していたため、延長当たりの補修コストが増となり、成果目標を達成することができなかった。							
				1,032,043	143	43,448					89	71	79%			107					
				1,233,619	119	45,577					107										
		道路維持課							26	23.4	90%	22.9	16.2			70%	30				
5		舗装調査費	-	4,178	4,178	0	県管理道路利用者	路面性状調査を実施し、舗装維持管理システムの保守・点検及び路面性状データを更新し、道路舗装の補修計画を立案した。	活動指標	路面性状調査結果更新(km)	259	274	105%	適切にシステム管理し、最適な舗装補修の計画立案ができ、ライフサイクルコストの低減が図られている。							
				3,969	3,969	0					252	255	101%			241					
				3,969	3,969	0					241					2,447	2,447	100%	2,450	2,450	100%
		道路維持課																			
6		トンネル安全施設費	-	12,600	0	0	県管理道路利用者	トンネル内の照明灯の清掃等を実施し、交通安全を図った。	活動指標	トンネル照明灯の清掃等の実施箇所数	1	1	100%	照明施設を適切に維持管理することで、トンネル照明施設の管理瑕疵による事故が発生しなかった。							
				10,080	10,080	805					1	1	100%			1					
				9,072	9,072	0					0	0	0			100%	0	0	100%	0	
		道路維持課																			
7	道路維持補修費	-	999,432	375,722	31,364	県管理道路利用者	苦情処理、除草、舗装補修等の危険箇所の緊急補修及び交通安全施設等の維持管理を行った。	活動指標	パトロール走行距離(km)	数値目標なし	604,813	—	道路パトロールを実施することで、道路の異常を3,039件発見することができた。	○							
			992,467	806,906	41,839					数値目標なし	604,683	—			数値目標なし						
			1,061,915	902,373	39,180					数値目標なし					数値目標なし	3,993	—	数値目標なし	3,039	—	数値目標なし
	道路維持課																				
8	道路照明灯管理費	-	269,373	269,065	8,042	県管理道路利用者	道路照明灯を点灯することにより、夜間の道路利用者(車両及び歩行者)の安全を図った。	活動指標	道路照明灯等の電気料金支出(式)	1	1	100%	照明灯を適切に点灯することで、照明灯の管理瑕疵による交通事故が発生しなかった。								
			261,371	260,904	11,264					1	1	100%			1						
			253,914	253,030	9,595					0	0	100%			0	0	100%	0			
	道路維持課																				

9	取組項目 i	道路清掃委託費	-	75,628	14,064	2,413	県管理道路利用者	県管理道路の路面清掃及びガードレール清掃を行った。	活動指標	県管理道路の清掃業務の委託(式)	1	1	100%	路面清掃等を適切に行うことで、道路清掃の瑕疵による事故が発生しなかった。			
				73,359	73,359	3,218					1	1	100%				
				71,159	71,159	2,399					1						
				道路維持課						0	0	100%					
					0	0	100%										
					0												
10		道路緑化維持・整備景観費	-	657,234	329,560	20,105	県管理道路利用者	県管理道路の高木や花壇の維持管理、道路維持整備(除草等)を行った。	活動指標	緑化維持・整備景観の発注(式)	1	1	100%			高木や花壇の維持管理を適切に行うことで、美化向上を図ることができた。また、道路敷の除草等を行うことで、通行や視距障害を無くし、道路の安全を図った。	
				327,809	327,809	13,678					1	1	100%				
				317,976	117,361	11,994					1						
				道路維持課						0	0	100%					
					0	0	100%										
					0												
11		道路管理事務費	-	6,962	1,165	0	県管理道路利用者	道路の管理瑕疵を原因とする事故が起こった際、被害者救済のため、加入した保険で損害の賠償を行った。	活動指標	保険加入(式)	1	1	100%	道路の管理瑕疵を原因とする事故は平成29年度に19件発生しており、被害者と示談を締結し、必要に応じた額の賠償を行った。			
				5,555	0	0					1	1	100%				
				8,893	0	0					1						
				道路維持課						100	100	100%					
					100	100	100%										
					100												
12		官民連携調査費	(H29終了) H29				県管理道路利用者	道路、港湾、河川、ダム、漁港、空港、農道、林道、森林資源を対象に官民連携事業の導入可能性調査を実施する。	活動指標	連携事業の導入可能性を調査する施設等の件数(件)						包括的民間委託の導入可能性について、第一段階として県管理道路の維持管理を導入し、中長期的には港湾、河川、ダム、漁港、空港、農道、林道の維持管理へ拡大できると判断した。また、上五島地域をモデルにインフラ管理を担う建設業の経営安定化を検討し、林業参入や椿実採取・椿林整備の方策を創出した。	
				12,960	0	-					9	9	100%				
	道路維持課								100	100	100%						
13	取組項目 ii	空港維持管理費	-	380,991	355,791	39,405	県有空港施設	長崎県が管理する空港(福江空港、対馬空港、杓岐空港、上五島空港、小値賀空港)において、管理運営及び場周柵補修等の土木施設及び航空灯火補修等の照明施設の維持更新工事を実施した。	活動指標	適正な空港管理	数値目標なし	適正管理	-	県有空港施設の維持管理を行い、航空機の安全運航に寄与した。			
				347,805	321,817	39,425					数値目標なし	適正管理	-				
				349,590	324,380	39,180					数値目標なし						
				港湾課						0	0	100%					
					0	0	100%										
					0												
14		ポートパーク整備事業費	-	15,734	154	1,608	港湾利用者	長崎港、茂木港、小長井港において、照明灯設置、浮桟橋補修、階段補修などを実施した。	活動指標	事業実施港数	4	3	75%			老朽化に起因する事故が1件発生し目標を達成出来なかったものの、県内5港において安全対策を実施しプレジャーボートの係留における安全・安心の向上を図った。	
				16,256	158	1,609					4	5	125%				
				17,723	0	1,599					5						
				港湾課						H28:受入施設における許可隻数(隻)	2,612	2,098	80%				
			施設破損による事故件数(件)		0	1	-										
					0												

15	取組項目 ii	長崎空港維持管理費	-	32,085	24,544	2,413	長崎空港 周辺県有 施設	長崎空港花文字山、隣接県有地・管理用道路・連絡通路の維持管理工事や、連絡通路維持管理委託（警備・清掃・昇降機点検等）を実施した。	活動 指標	利用客数(千人)	数値目標なし	120	—	長崎空港の花文字山を維持管理することにより、空港利用者へ長崎空港をアピールし、長崎の印象を強めることに貢献した。また、県有地を適切に管理することにより、保安施設の維持管理に支障を来たすことなく、航空機の安全運航に寄与した。			
				39,595	32,191	2,414			数値目標なし		117	—					
				36,220	29,197	2,399			数値目標なし								
		港湾課						成果 指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%	0				
16		港湾施設維持管理費	-	667,572	281,293	147,562	港湾施設	港湾施設の維持補修及び管理運営を行った。	活動 指標	適正な港湾管理	数値目標なし	適正管理	—	港湾施設・緑地・海面の安全性の確保に努めたが、可動橋破損に伴う管理瑕疵事故等が2件発生した。			
				719,515	319,398	148,047			数値目標なし		適正管理	—					
				790,039	293,139	147,127			数値目標なし								
港湾課							成果 指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%	0	2	—	0		
17		福江空港整備費(公共)	H24-30	15,974	23	—	照明施設	監視制御設備の製造・設置工事を実施した。	活動 指標	適正な空港管理	数値目標なし	適正管理	—	照明施設の老朽化に伴う更新工事を行うことにより、航空機の安全運航に寄与した。			
				180,393	71	—			数値目標なし		適正管理	—					
				124,668	14	—			数値目標なし								
港湾課							成果 指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%	0	0	100%	0		
18		対馬空港整備費(公共)	H25-32	454,676	24	—	土木施設 照明施設	土木施設(滑走路舗装)及び照明施設(航空灯火)の改良・更新工事を実施した。	活動 指標	適正な空港管理	数値目標なし	適正管理	—	土木施設及び照明施設の老朽化に伴う更新工事を行うことにより、航空機の安全運航に寄与した。			
				290,045	109	—			数値目標なし		適正管理	—					
				299,775	75	—			数値目標なし								
港湾課							成果 指標	管理瑕疵による事故数(件)	0	0	100%	0	0	100%	0		
19	取組項目 iii	公営住宅建設費(公共)		1,606,793	10,690	—	県営住宅	長崎県公営住宅等長寿命化計画に基づき、建替えや住戸改善事業を実施することにより、バリアフリー化された安全に安心して生活できる県営住宅を整備した。 深堀団地B群(改善)1棟20戸 花高団地2群(改善)1棟40戸 毛井首団地(改善)1棟30戸	活動 指標	適正な県営住宅の管理	数値目標なし	適正管理	—	管理瑕疵による県営住宅の外壁が落下する事故は発生しなかった。	○		
				987,592	1,937	—			数値目標なし		—	—					
				1,197,949	3,009	—			数値目標なし								
		住宅課						成果 指標	住宅の外壁落下による事故(件)	0	0	100%	0	0	100%	0	

20	取組項目iv	堰堤改良事業費(公共)	—	579,884	65	—	事業実施ダム下流河川沿川住民	県管理のダムにおいて、その効用の継続的な発現のため、ダム設備の機能の回復または向上を図った。	活動指標	事業実施施設数	4	5	125%	県管理の7ダム(野々川、猫山、江永、樋口、雪浦、福江、け知ダム)において設備の更新・機能向上を行い、管理瑕疵による事故は発生しなかった。	○
				854,514	138	—					3	7	233%		
				1,293,177	186	—					9				
		河川課		成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	0			0	100%					
						0			0	100%					
						0									
21	取組項目iv	特定構造物改築事業費(公共)	H21-	41,405	83	—	事業実施河川沿川住民	県管理の水門・樋門施設について、その効用の継続的な発現のため、施設の点検整備を行った。	活動指標	事業実施施設数	4	4	100%	県管理の樋門(日野、小野、万灯)、水門(相浦)について、施設の点検整備を実施することで管理瑕疵による事故は発生しなかった。	○
				2,660	10	—					4	4	100%		
				32,100	0	—					4				
		河川課		成果指標	管理瑕疵による事故数(件)	0			0	100%					
						0			0	100%					
						0									
22	取組項目v	道守育成事業	—	3,000	3,000	0	地元自治体職員、地元企業職員等	道路施設の適切な維持管理のために、道路施設の点検に不可欠な高度な技術力を持つ道守を育成した。	活動指標	道守育成講座の開催回数	4	6	150%	講座受講需要の高まりと、コスト縮減から計画を上回る実績となっており、道守の養成数は増え、成果は確実に上がっている。	○
				3,000	3,000	0					4	4	100%		
											2				
		道路維持課		成果指標	道守の人数(累計)	205			225	109%					
						265			285	107%					
						300									

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 橋梁、トンネルの維持管理更新 ・橋梁長寿命化修繕計画(第二期:H27～H36)に基づき、計画的な補修を行っており、今後は対症療法的な修繕を早期に完了することで、平成30年度からの予防保全型への移行を目指し、今後も長寿命化及びトータルコストの縮減・平準化を図る。 ・道路トンネル維持管理計画(第二期:H27～H31)に基づき、予防保全型の維持管理を行っており、道路の安全な利用に寄与している。今後も、計画的な維持管理を継続する。 ・道路舗装維持管理計画(第二期:H27～H31)に基づき、早急に補修が必要な箇所を重点的に補修を行い、予防的補修への移行を目指し、今後も計画的に舗装の延命化とコスト縮減を図る。 ・道路照明灯、ガードレールなどの附属施設の維持管理及び道路環境を良好に保ち、道路の安全な利用に寄与しており、今後も計画的な維持管理を継続する。 ・管理瑕疵による事故は平成29年度に19件発生しており、このうち局所的なポットホールなどによる舗装損傷が原因のパンクが2件、斜面からの落石・崩土等が6件となっており、今後、道路パトロールによる異常個所の早期発見に努めるとともに、不測の事態への対応のためにも道路管理事務費の継続が必要である。
ii) 港湾施設及び県管理空港施設の維持管理更新 ・成果指標である「管理瑕疵による事故数(件)」ゼロ件を目指してきたが3件の事故が発生した(1件示談成立。2件調査中)。インフラ施設の老朽化が進む中、施設の全てを巡回することが難しい状況であるが、今後、維持管理に係るコストを削減しながら、効果的に施設の巡回を行うとともに、計画的に適切な維持管理や維持工事を実施することにより、事故の発生を未然に防ぐ必要がある。
iii) 県営住宅の維持管理更新 ・平成29年度において成果指標としている「住宅の外壁落下事故」は、発生しておらず、適切に維持管理を行うことができている。管理費用と家賃収入とのバランスを確保するために、ライフサイクルコストの縮減を目指す。
iv) ダム、水門、樋門の維持管理更新 ・早急に対応が必要な箇所を計画的に対応することで適正に維持管理ができており事前の事故防止が出来ている。 ・大型の水門・樋門については、策定した長寿命化計画に則り補修を行うことでライフサイクルコストの縮減を図る。 ・県管理のダムは現在35ダムあるが、堰堤改良事業によりダム設備の機能回復、向上を図っていくためには、平成30年度より国庫補助の採択条件として長寿命化計画の策定が必須になっていたが、平成29年度中に全てのダムで策定完了。
v) 道守制度の活用 ・大学と協働し、インフラ構造物の維持管理や再生・長寿命化に携わる人材は確実に養成されているが、今後も引き続き道路施設の点検に必要な技術力を持つ道守の育成を継続し、県内全域での人材確保を行う必要がある。

4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業 番号	取組 項目	事務事業名	30年度事業の実施にあたり見直した内容 (H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しがない場合は「－」と記載)	31年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
3	取組 項目 1	橋梁補修事業	—	—	道路管理者として道路橋を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、橋梁補修を行うことで道路の安全な利用を図る。	現状維持
4		舗装補修事業	—	—	道路管理者として道路舗装を適切に管理する義務があり、予防的補修に移行できるよう、早期に補修が必要な箇所を重点的に行う。今後も本事業を継続し、舗装補修を行うことで道路の安全で快適な利用を図る。	現状維持
5		舗装調査費	—	—	道路管理者として道路舗装を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、舗装維持管理システムを管理し、最適な舗装補修の計画立案で、ライフサイクルコストの低減を図る。	現状維持
6		トンネル安全施設費	—	—	道路管理者としてトンネル照明灯等を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、照明施設を適切に維持管理する。	現状維持
7		道路維持補修費	—	—	道路管理者として道路を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、道路の安全な利用を図る。	現状維持
8		道路照明灯管理費	—	—	道路管理者として道路照明灯を点灯することにより、夜間の道路利用者（車両及び歩行者）の安全を図る義務があり、今後も本事業を継続する。	現状維持
9		道路清掃委託費	—	—	道路管理者としてガードレール等の施設を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、道路の安全な利用を図る。	現状維持
10		道路緑化維持・整備景観費	—	—	道路管理者として植樹等を適切に管理する義務があり、今後も本事業を継続し、通行や視距障害を無くし、道路の安全な利用を図る。	現状維持
11		道路管理事務費	—	—	道路の維持管理を行っているところであるが、今後も管理瑕疵を原因とする事故が発生する可能性があり、本事業を継続する。	現状維持

13	取組 項目 ii	空港維持管理費	—	—	インフラの老朽化に起因した事故を未然に防ぎ、航空機の安全運航を維持するため、事業を継続する。	現状維持
14		ボートパーク整備事業費	—	—	管理者として、施設管理を適切に行う義務があり、限られた予算の中で適切な管理を行い安全・安心の利用を図る。	改善
15		長崎空港維持管理費	—	—	長崎空港の花文字山は、観光客を始めとする空港利用者に対し長崎を強く印象づける効果があること、また、航空機の安全運航の観点から保安施設の維持管理に支障をきたさないように県有地を管理する必要があることから、事業を継続する。	現状維持
16		港湾施設維持管理費	—	—	限られた予算の中で、計画的に適切な維持管理や維持工事を実施し、港湾施設の安全な利用を確保する。	改善
22	取組 項目 v	道守育成事業	—	—	インフラ構造物の維持管理や再生・長寿命化に携わる人材は確実に養成されているが、今後も引き続き道路施設の点検に必要な技術力を持つ道守の育成を継続し、県内全域での人材確保を行う必要がある。	現状維持

注：「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点